

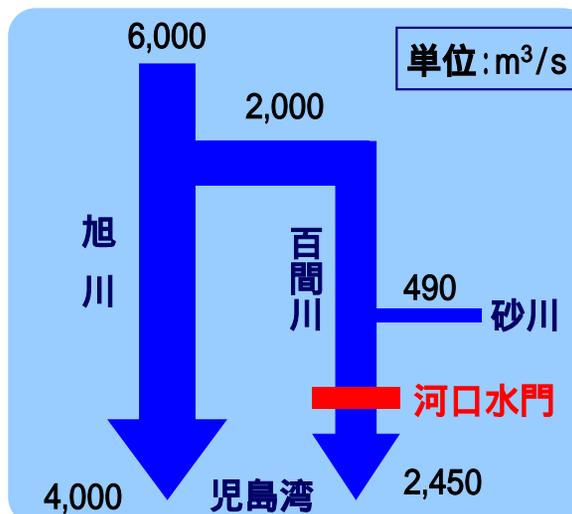
1. これまでの百間川整備の概要

百間川は、岡山城と上道郡を洪水から守るとともに、下流域の新田開発のために築造されて以来、旭川放水路として岡山平野を洪水の氾濫から守る大切な役割を果たしています。

国土交通省では、このような百間川の役割の継承と、百間川沿川における安全確保の両立をめざして、昭和49年に築堤等の本格的な百間川改修に着手し、平成9年には工事实施基本計画（平成4年改定）の百間川分流量（ $2,000\text{m}^3/\text{s}$ ）に対応した堤防が砂川を残し概成しました。

旭川工事实施基本計画（平成4年）の概要

既往最大である昭和9年洪水規模への対応を目標として洪水流量配分を定めている。



これまでの百間川整備の概要

以下に示すような各種整備を進め、平成9年には、堤防の整備が砂川を残し概ね完成している。

河道整備

洪水が安全に流れる河道に！



堤防整備

堤防を高く、丈夫に！



橋梁改良

洪水時にも安心して渡れる橋に！



排水路整備

機能的な排水路に！

